

# 7月の園だより

令和5年7月1日  
目黒区立菅刈保育園長

園庭では泥あそびを楽しんでいる子どもたち。砂場では友達と協力しながら、大きな砂山に水を流して遊ぶ姿や、水たまりにバシャンと入り跳ねるしぶきに歓声をあげる姿など、積極的に泥に関わる姿は保育園ならではの光景です。夏ならではの遊びを思いきり楽しむことで、子どもたちは心も身体も解放していきます。心が解放され自分らしく過ごせるようになることで、様々なことにチャレンジできます。今後のプールが楽しみです。

幼児クラスで“みんなであそぼう会”を行いました。最初の競技は、りす組とうさぎ組と一緒にフープの汽車に乗って先生の所まで行くゲームです。どちらも緊張していて、ゆっくり静かに出発しています。あまりにも静かに進んでいると、見ているきりん組が「がんばれー」と応援してくれる声が・・・一気に楽しい雰囲気となりました。競技を重ねていく中で、やり終えた時の笑顔や「こっちだよ」とさりげなく教えてあげる姿等色々な場面で関わる姿が見られ、年上児と年下児で気持ちを伝え合ったり、関わり合ったりすることの大切さを感じました。最後のお楽しみは先生たちの“荒馬”踊りです。先生たちの踊る姿に目が釘付けになりながらも、自然と「らっせらー」「らっせらー」とかけ声をかけてくれた子どもたち。一体感が生まれ盛り上がりました。一生懸命踊る保育士の気持ちを子どもたちがしっかり受け取ってくれたように思います。応援したり、かけ声をかけたりすることが心をつなぐ架け橋となっていることが実感できました。大きな声を出すことは気持ちいいですね。行事や水遊びを通して、気持ちを表現しながら、友達と一緒に活動を楽しめるようにしていきます。



プール開き  
眼科検診(全クラス)  
身体計測(乳児クラス)  
身体計測(幼児クラス)

七夕会(3,4,5歳児クラス)  
笹燃やし(3,4,5歳児クラス)  
避難訓練

～えんていつうしん～

6月の園庭の様子です。



夏野菜クイズ★園庭やテラスで夏野菜が成長中です。何の野菜かわかりますか★



答えは裏面です

## 1・3・5 歳児の子どもたちの好きな遊びの様子をご紹介します

### すみれ組



#### 「初めての小麦粉粘土」

初めて小麦粉粘土を見た子どもたちは不思議そうな表情をしていました。それぞれに粘土を配ると“触ってみたい”とすぐに手をのばす子もいましたが、興味はあるものの触れることに躊躇している子もいました。保育士が楽しんで遊びながら待っていると、恐る恐る人差し指をのばしツツツと触り始めています。粘土の柔らかい感触にフッと笑顔が見られ、また触れていました。感触に慣れてくると、両手を使って細長くのばしたり、こねたり、小さくちぎったりと夢中で遊んでいます。保育士と一緒に粘土の引っ張り合いもしました。どんだんのびていく粘土の感触が面白かったようで「もう一回」と何度も繰り返し楽しんでいました子どもたちです。

これからも一人ひとりの姿や気持ちに寄り添いながら、様々な感触遊びを楽しんでいきたいです。



### りす組



#### 「フルーツバスケット」

雨の日等、フルーツバスケットのゲームを楽しんでいます。ぶどう、りんご、バナナの絵のついたカードを首から下げて行っています。ゲームが始まり「りんごー」と呼ばれると、“自分は何だっけ”と絵を確認し、慌てて立ち上がったたり「こっち空いてるよ」と椅子を探している子に教えたり、無事に座れた子はホッとした表情になったりしています。最初は“鬼になりたい”という思いでウロウロと歩いて座ろうとしない姿が多くありましたが、1回も鬼にならない人がチャンピオンになるというルールを導入すると、空いた席に必死に座る姿へと変わってきました。

ルールのある遊びをたくさん経験しながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさ、ルールを理解して守るからこそその面白さ等、十分に感じられるようにしていきたいと思います。



### きりん組



#### 「空き箱制作からアイス屋さんへ」

空き箱での制作に夢中のきりん組です。ある日、ヨーグルトカップでアイス作りが始まりました。アイスはクレヨンで色を塗り、トッピングも加えています。友達のアイスから刺激を受けて、自分が食べたことのあるコーンのアイスなど、色々なアイスが並びます。お店屋さんが始まると「看板作ろう」「お金もないと買えないよ」と必要なものに気付き、自分たちで作り始めていました。もう一方ではお店屋さんが始まったという声を聞いてお客さん役となり、アイスを買に行きって売り買いのやりとりをしたりと、遊びがどんどん広がっていきます。

イメージしたものを形にする楽しさや、そこから生まれる友達とのやりとりなど、自分たちで遊びを進めていく楽しさを感じているようです。

